

地理歴史 科	科目名	世界史 A	担当者	赤嶺 尚
履修学科	情報技術科・インテリア科・デザイン科・調理科			
履修学年	第 2 学年	履修単位	2 単位	
概要及び目標	近現代史を中心とする世界の歴史を、わが国の歴史と関連づけながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
評価基準及び方法	○各学期の中間及び期末考査 ○小テスト ○『新世界史 A ノート』記述 ○プリント（ファイル）まとめ ○授業態度・意欲			
使用教科書及び教材	教科書『明解 新世界史 A 新訂版』（帝国書院） 副教材『新世界史 A ノート 新訂版』（帝国書院） 明解世界史図説『エスカリエ』（帝国書院）			
その他留意点	常に世界地図を開かせ、歴史的事象を視覚的・空間的に把握させることに留意する。			

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	人類のはじまり ・地球上に現れた人類と文明	・人類の登場と、農耕・牧畜による食糧生産を基礎にして文明が築かれ、歴史時代へ入っていく過程を理解する。	
5	東アジアの文明	・東アジアの風土や農耕牧畜による食料生活を基礎として、人間が文明を築き各地域が形づくられていく課程を理解する。	中間考査
6 月	南アジアの文明 東南アジア 西アジア・北アフリカの文明	・南アジアの文化や、カースト制・仏教・ヒンドゥー教・イスラームを通して文明の特質を理解する。 ・東南アジアの位置に注目し、周辺国家からどうの様な影響を受けたかを理解する。 ・オリエント文明やイスラームの誕生と広がりから分裂などを通して西アジア・北アフリカの文明の特質を理解する。	
7 月	大航海時代と新たな国家形成	大航海時代のヨーロッパ人の海外進出と諸地域世界の動向を中心に、16世紀の世界の一体化への動きとヨーロッパの主権国家体制を通して、16～18世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向を把握する。	期末考査
9 月	ヨーロッパとアメリカの諸革命・ルネサンスと宗教改革、	・産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立、拡大する貿易活動を通し、西ヨーロツ	

シラバス（世界史 A）

10月	新航路の開拓、主権国家体制の成立にふれ、16世紀の世界の一体化への動きと新たな枠組みとなった主権国家体制について理解する。	パとアメリカに産業社会が成立し、市民社会及び国民国家の形成が進行したことを理解する。	
11月	自由主義・ナショナリズムの進展 ・“世界の工場” イギリス ・国民国家の発展と列強の成立 ・南北戦争と戦後の発展 ・科学の世紀	19世紀を転換点として、自由主義と国民主義が進展した19世紀後半の欧米社会の特質を理解す	中間考査
12月	東アジアの大変動 ・東アジアと欧米列強 ・アジアの工業化と日清戦争 ・東アジアをめぐる国際関係 ・孫文が導いた辛亥革命 現在につながる社会の形成 ・大衆社会の出現 ・世界を分割する帝国主義	・東アジアの内部で進行していた変化とヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌を概観する。 大衆社会とは何か、大衆がもたらした影響などを考える。帝国主義の登場とそれがもたらした影響などを理解する。	期末考査
1月	・世界の一体化と人口移動 第一次世界大戦がもたらしたもの	19世紀後半からの人口移動の理由や世界の一体化と社会の変容を理解する。 ・第一次世界大戦と総力戦としての様相、ロシア革命、ソヴィエト連邦の成立、戦争と革命による国際秩序の変化などを理解する。	
1	現代社会につながる社会の形成	19世紀後半から20世紀初頭にかけて、欧米諸国や日本などに見られた社会の急激な変化とヨーロッパ列強の世界分割を巡る競争を通して帝国主義時代の世界の一体化の特質を理解する。	
2	経済危機から第二次世界大戦へ	第二次世界大戦の要因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて理解する。	学年末考査
3	調べ学習	これまで学んできたことを、グループを作り興味を持ったものについて調べ発表する。	